



# DII-200

イージーストロボデリカシー200W

- この度は当商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- 本書には組立、および、ご使用に関する大切なご案内が記載されております。本書を良くお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立てください。
- 保証対象品が含まれる場合、別添の保証書を良くお読みになり、本書と共に大切に保管してください。



## お届け内容

- 本体 1台
- フラッシュチューブ (接続済み) 1個
- モデリングランプ 1個
- 電源コード 1本



## 各部名称



※お届け内容、スペック等の最新情報は製品HPをご覧ください。

## 本機の機能

### \*1: シンクロ

別売の無線送受信機『TR-A9』、またはシンクロケーブルを利用します。

### \*2: スレープモード

他のストロボの発光に同調させたい場合、スレープ設定ボタンで本機能を有効にします(プリ発光未対応)。

### \*3: モデリングランプ

電源スイッチを上部に倒すと電源とモデリングランプがオン、スイッチを下部に倒すと電源のみオンとなります。

### ⚠ 利用可能なカメラについて

シャッタースピードや絞り、感度を設定できる「マニュアルモード」があり、シンクロターミナルまたはホットシューを備えたカメラが必要です。シンクロコードの利用にはカメラ側のシンクロターミナルにコードを差し込んでください。カメラにシンクロターミナルが無い場合は、カメラのホットシューをシンクロターミナルに変換させるアクセサリ「ホットシューアダプター」をご用意いただき、シンクロコードで接続してください。なお、カメラ側にシンクロターミナルがある場合でも、事故や破損防止の為に「ホットシューアダプター」、もしくは無線送受信機のご利用をおすすめいたします。

シンクロターミナル (カメラ側)



## 起動までのセッティング



①図のようにダボ受け穴にスタンドの上部ダボを挿入し、ダボ固定ネジを締める。

スタンド上部のオスネジはストロボとの接続用ではありません。ダボ固定用ネジのネジ穴に絶対に接続しないでください。



②モデリングランプを差し込み、アンブレラ等のアクセサリを接続する(次ページ参照)。

素手でランプやチューブを触らないでください



③電源コードを本体へ接続し、コンセントにつなげる(画像はDM3-400です)。



④電源スイッチを入れ、出力等を設定。シンクロコード等を接続し撮影準備を完了する。

スイッチ上: 電源、モデリングランプ共にON  
スイッチ下: 電源のみON



▲スタンドへの接続方法

## シンクロコードの接続



**【準備】**  
シンクロコード(別売)を用意します。

**【接続】**  
①ストロボにシンクロコードのミニジャックを差し込みます。  
②カメラ側のシンクロターミナル、またはホットシューアダプター(右写真参照)にシンクロコードの端子を差し込みます。



●シンクロコードのカメラ側端子は少しきつめの場合がありますので、抜き差しはゆっくりと行って下さい。●シンクロコードの接続がしっかりされていないとシンクロ不良を起こす場合があります。●シンクロコードを接続する際、ストロボが発光する場合がありますが異常ではありません。●シンクロコード使用時、コードに足をひっかけてカメラやライトを倒さないよう十分ご注意ください。●写真はDM3-400です。

## アクセサリ類の装着 (ソフトボックス)



### 【取り付け方】

※右のQRコードより組立方法のYoutube動画をご覧ください

①ソフトボックスを組み立てて、スピードリングの「マウント固定レバー」を押してロックを解除しながら、ストロボに装着する(写真はストロボMARS-3のものですが、装着方法は同様です。また製造ロットによりスピードリングの形状が異なる場合があります)。

②ソフトボックスにディフューザを装着する。

※発光管の破損などに十分注意してください。



▲DIIシリーズ専用ソフトボックスの組立方法

## アクセサリ類の装着 (アンブレラ)



### 【取り付け方】

①ティルトレバーを緩め、ストロボ本体を上部に傾ける。

②芯径8mm以下の傘を開き、アンブレラ差込口に挿入する。ティルトレバーを傘が落ちない程度に軽く締める。

③傘とストロボ本体を支えながら、好みの角度に調整し、ティルトレバーを締めこむ。

## アクセサリ類の着脱 (バンドア)



### 【取り付け方】

ストロボを支えながら、アクセサリ接続部に正面からはめ込む。カチッという音でロックされた事を確認する。

### 【外し方】

ストロボを支えながらバンドアを閉じた状態でまっすぐ引き抜く。

## 【安全にご利用いただくために】

フル発光、満充電の状態はストロボに過度な負荷をかけてしまいます。安全に、長く使っていただくため、下記の事項を必ず守ってご利用ください。

- ・フル発光は15分の間に50回程度に制限してください。
- ・フル発光を繰り返した際は、10分程度の休憩時間を設ける為、電源をオフにしてください。
- ・不要な場合はモデリングランプをオフにしてください。
- ・ソフトボックス利用時は熱がこもりやすくなります。「出力を落とす」「モデリングランプを消灯する」「発光回数を減らす」などの対策で、過度な温度上昇にご注意ください。

## ご利用上の注意

◆連続発光はお止めください。コンデンサ過負荷による故障に繋がります◆露出のマニュアル設定が可能なカメラをご利用ください。コンパクトデジカメ、スマートフォン、一部ミラーレス一眼などでは本機をご利用になれません◆光源を直接見たり、人物の至近距離で発光させる事は危険です。絶対におやめください◆プリ発光には対応していません。TTLでのシンクロやハイスピードシンクロは出来ません◆直射日光が当たる場所、熱い場所、冷たい場所、湿気や水分が多い場所での運用は絶対におやめください◆無償保証期間は1年間です◆製品の分解・改造は危険ですので絶対におやめください◆分解・改造などの跡がある個体はいかなる理由でも保障の対象外となります◆当機を布等で覆うことはおやめください◆排熱口をふさがないでください◆各部のネジは締めすぎないようにご注意ください。ネジが破損する場合があります◆小さいお子様の手の届かない環境で運用してください◆モデリングランプやフラッシュチューブは素手で触らないでください。また使用後は大変熱くなっています。冷ましてから保管収納してください◆ソフトボックスをご使用の際は熱対策にご留意ください◆ご使用方法や環境次第ではスペック通りの性能が引き出せない場合がございます◆無償保証期間は当製品の耐久性を保証するものではありませんのでご了承ください。